

(7) 環境に対する費用と効果

① 環境関連施設に対する費用と効果の枠組み

環境に関する取組を実施するにあたっては、環境保全のための費用と、その活動により得られた効果を的確に把握することが重要です。

これらの環境に対する費用と効果の把握は、行政においては、環境経営の視点に基づく効率的な施策展開のための内部の意思決定や、県が実施する政策や事業活動が及ぼす環境情報を県民に提

供するためのツールとして期待されています。

行政における環境に対する費用と効果の対象は、「環境関連施策(地域の環境を保全するための事業)」と「オフィス活動や庁舎管理等における環境保全活動」の2つの側面があります。今回は、「環境関連施策」の費用と効果について紹介します。

環境関連施策

① 費用

費用は、みえ政策評価システムの事務事業ベースの予算額に人件費を加算して、施策が環境保全に寄与する割合を乗じて算出します。

② 効果

効果は、地域における環境の状態が改善しているか悪化しているかを測定する「環境指標」と、地域における環境保全の取組が活発になっているか停滞しているかを測定する「環境保全活動指標」から算出します。

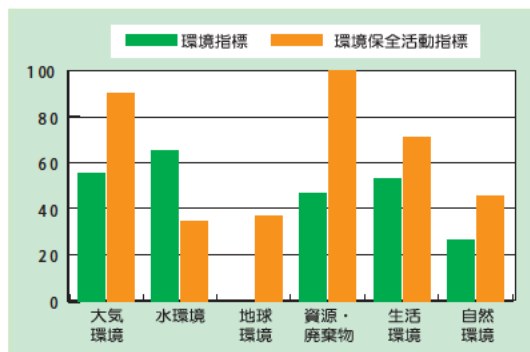
② 平成19年度の環境に対する費用と効果

環境関連施策の費用については、環境会計の基本的枠組みに基づいて、平成19年度決算等により試算しました。また、環境関連施策の効果につ

いては、大気環境、水環境等の平成19年度実績値等により試算しました。

● 環境に対する費用の実績

分野	行政コスト(百万円)
大気環境	29,774
水環境	9,094
地球環境	1,475
資源・廃棄物	6,106
生活環境	252
自然環境	5,779
土壌環境	22
歴史的・文化的環境	186



環境指標及び環境保全活動指標は、それぞれ下表の算定方法に基づいて算定しています。環境指標100点で「良好な状態」、環境保全活動指標100点で「環境保全活動の活発化している状態」です。なお、環境保全活動指標の「共通」については、環境指標の「生活環境」の項目でグラフ化しています。

		算定方法
環境指標	大気環境	NO ₂ 、SPM※1等の環境基準値(全国平均値)及び全国ベスト、ワースト値と三重県の値から算定
	水環境	BOD※2、COD※3等の類型ごとの環境基準値と三重県の値から算定
	地球環境	CO ₂ 排出量の計画目標値と1990年度基準値、基準値+3%と現在の三重県の値から算定
	資源・廃棄物	廃棄物排出量の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定
	生活環境	騒音の環境基準値、基準値-10dB、基準値+5dBと三重県の値から算定
	自然環境	自然環境保全地域面積の割合及び一人あたりの都市公園面積の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定
環境保全活動指標	大気環境	低公害車両の割合の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定
	水環境	汚水処理施設整備率の全国ワースト、平均値及び長期的な目標(100%)と三重県の値から算定
	地球環境	風力発電や太陽光発電の導入量の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定
	資源・廃棄物	一般廃棄物再資源化率の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定
	自然環境	緑の基本計画策定市町村率の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定
	共通	ISO認証取得率やエコクラブの登録会員数の全国ベスト、ワースト、平均値と三重県の値から算定

※1 SPM: 大気に浮遊している粒径10μm以下の粒子状物質で、NO₂とともに代表的な大気汚染物質です。

※2 BOD: 水質の指標で、水中の有機物などが微生物の動きによって分解されるのに要した酸素量のことで、河川での水質評価に用い、水の汚濁の程度を示します。

※3 COD: 水質の指標で、水中の有機物などを化学的に酸化するために要した酸素量のことで、海域、湖沼での水質評価に用い、水の汚濁の程度を示します。